

令和7年度 教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号	47	学校名	土岐紅陵高等学校
------	----	-----	----------

社会的役割等 (スクール・ミッション)	生徒が主体的に学ぶ総合学科の高校として 多様で地域に開かれた学びを通して 未来に向かって自己と社会を拓く人の育成を目指す学校		
学校教育目標 (教育方針)	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人一人の尊厳を最大限に尊重し、一人一人の良さや可能性を見つけ、伸ばす。 ・学力とコミュニケーション能力を向上させる。 ・キャリア意識の向上とその礎となる自己肯定感を醸成する。 ・自立に必要な基本的生活習慣の確立に加え、個人及び集団としての規範意識を向上させる。 ・家庭や地域との連携を大切にされた教育活動を推進する。 ・「開かれた学校づくり」を進めるとともに、広報活動を充実させる。 		
3つの方針 (スクール・ポリシー)	どんな生徒を 育てたいか 【GP】	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣、倫理観及び社会的なマナーを身に付け、互いの多様性や人権を尊重し思いやる心と生命、自然、文化を大切にする生徒 ・自己の可能性を信じ、自己を成長させるため、生涯にわたり主体的かつ意欲的、継続的に学習する努力を惜しまない生徒 ・思考力と適切な判断力を身に付け、社会の進展に主体的に対応するとともに、他者と協働して豊かな地域・社会を創造する生徒 	
	生徒をどう 育てるか 【CP】	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の個性、感性及び長所を伸ばすための多様な科目選択を可能にする教育課程の編成と、ICTを有効に活用した粘り強く丁寧できめ細かな指導の実施 ・地域社会の一員としての自己有用感を持たせるとともに、主体性や協調性を育成するため、地域社会と連携・協働した体験的・実践的な活動を積極的に実施 ・思考力、判断力、表現力等を育成するための課題解決学習を中心とした探究的な学びの推進 	
	どんな生徒を 待っているか 【AP】	<ul style="list-style-type: none"> ・互いの違いや良さを理解し、互いに認め合う努力をするとともに、自らを律しつつ、他者を思いやり、他者ととも協調する努力ができる生徒 ・自己の生き方について主体的に考えるとともに、将来の多様な進路表現に向けて学習活動、部活動、学校行事などに真面目に取り組む生徒 ・奉仕活動や体験活動等の地域活動を通して地域社会と積極的に関わり、仲間とともに人間性、社会性を高めようとする生徒 	
学校の抱える課題	<ul style="list-style-type: none"> ・「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改革が必要である。 ・コミュニケーションの図り方が上手いか、トラブルに発展するケースが多くある。 ・自身の考えを的確に表現する力が生徒に不足している。 ・多様な進路を支援できる体制づくりが十分に構築されていない。 ・本校の特徴ある学びについての中学校の理解が不十分である。 		
教育指導の重点	領域・分野	今年度の具体的な重点目標	
	学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・「学ぶ楽しさ」を感じさせる授業改善と「協働的な学び」の充実 ・教育課程や校務のリフォーム 	
	生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の在り方や生き方を主体的に考えることができる人の育成 ・思いやりのある人の育成 ・社会で求められる資質や品格を身に付けた人の育成 ・地域社会に貢献できる人の育成 	
	進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の可能性を伸ばす進路行事の一層の充実 ・自身の考えなどを的確に表現する力を身に付ける機会の提供 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・より魅力的な広報活動の推進 ・探究学習の在り方・持ち方についての開発 		

年度目標				年度末評価(自己評価)			
領域分野	3つの方針・具体的な重点目標の達成に必要な 具体的取組・方策	県教育振興 基本計画での 位置付け	達成度の判断・判断基準 あるいは評価指標	取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	評価 A. B. C. D	成果と課題	総合 評価 A. B. C. D
教務	・ユニバーサルデザインとラーニングピラミッドを意識した授業改善	施策Ⅱ-8	・生徒学校評価の「授業の教え方や説明が分かりやすい先生が多い」の項目で、肯定的な評価が70%以上。				
	・高大連携事業の実施	施策Ⅰ-1	・高大連携事業の実施。				
	・地域課題の理解と解決能力の育成	施策Ⅱ-13	・地域と連携した授業の実施。				
生徒支援	・自己肯定感と自己有用感を育み、自らの価値と可能性に気づかせる。	施策Ⅰ-1	・生徒学校評価の「本校では、一人一人のよさや可能性を伸ばすことに努めている。」の項目で、肯定的な評価が80%以上。				
	・出会いと学びを通じて、人の気持ちを考え、発言・行動することができる力をつけさせる。	施策Ⅰ-1	・生徒学校評価の「本校では、いじめや差別を許さず、厳しく対応している。」の項目で、肯定的な評価が80%以上。				
	・基本的な生活習慣を確立し、TPOをわきまえた立ち振る舞いができる力をつけさせる。	施策Ⅰ-1	生徒学校評価の「本校では、人間としての基本的なモラルやマナーを身に付けさせよう」と努めている。」の項目で、肯定的な評価が80%以上。				
	・集団における自身の役割を理解し、他者と協働し責任をもって物事に取り組む力をつけさせる	施策Ⅰ-1	学校行事・部活動等で他者と協働し物事に取り組む姿を見ることができた。				
進路支援	スタディサプリ活用推進や「じぶん開発講座」開催等を通して、生徒の自己表現力を向上させる。	施策Ⅱ-8	・生徒学校評価の「本校では、生徒の将来の進路の希望に沿った具体的な進路指導が行われている」の項目で、肯定的な評価が70%以上。				
	系列の特性に応じた進路説明会を開催する。	施策Ⅳ-20	・講座や説明会の参加者数や開催後の感想				
	公務員志望者に対して、学力向上の支援や面接指導の充実を図る。	施策Ⅳ-20	・進路実績				
その他	・「産業社会と人間」「総合探究学習」の評価の開発	施策Ⅱ-13	・教員向け事後アンケートの回答。				
	・土岐紅陵高校探究学習プログラムの充実	施策Ⅱ-13	・生徒向け事後アンケートでの満足度80%以上。				
	・憲元まつり取組みの完成年度としての長期的展望に立ったシステムの構築	施策Ⅰ-4	・志願者数の増加				
	・中学校向け学校説明会等での広報活動の充実	施策Ⅱ-13					

来年度に向けての改善方策等

実施日：令和8年 月 日 学校関係者評価

実施日：令和8年 月 日

--	--